

高校受験対策・関数21

〇 右の図で、直線 l は関数 $y = -x + 6$ のグラフで、 x 軸上に点 $A(-1, 0)$ 、点 $B(4, 0)$ を、 y 軸上に点 $C(0, 4)$ を、それぞれとる。また、直線 l 上の $x > 0$ 、 $y > 0$ の部分に点 P をとる。このとき、次の各問いに答えなさい。

① 2点 A 、 C を通る直線の式を求めなさい。

② $\triangle ABP$ の面積と $\triangle ACP$ の面積が等しくなるときの点 P の座標を求めなさい。

